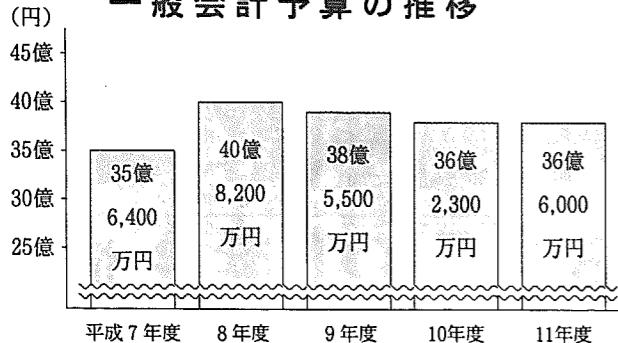
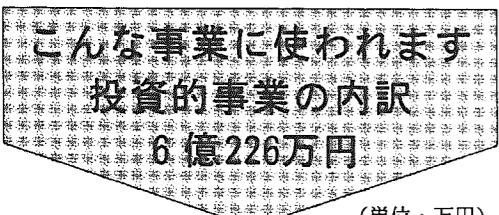


一般会計予算の推移



平成11年度予算一口メモ

○住民1人当たりが負担する税金	8万7,982円 (9万4,860円)
○住民1人当たりに使われるお金	33万8,169円 (33万8,503円)
○住民1人当たりの借入金	1万8,516円 (1万9,387円)
○住民1人当たりの返済金	4万9,091円 (4万9,772円)



(単位: 万円)

総務 646万円

役場駐車場排水設備等移設工事、ガードレール・防犯灯等設置工事、交通安全指導車購入

民生 1億2,976万円

老健施設・特養ホーム等建設用地取得(買戻し)、リフトバス購入、光ケーブル敷設工事

衛生 2,520万円

合併処理浄化槽設置整備事業

労働 3,049万円

勤労者総合福祉センター用地取得(買戻し)

農林水産業 6,211万円

地盤沈下対策事業、一般農道(横木)整備事業、古阿賀地区湛水防除事業

土木 2億6,169万円

排水ポンプ設置、配水路改修工事、主要地方道新潟港横越線歩道工事、街なみ環境整備等

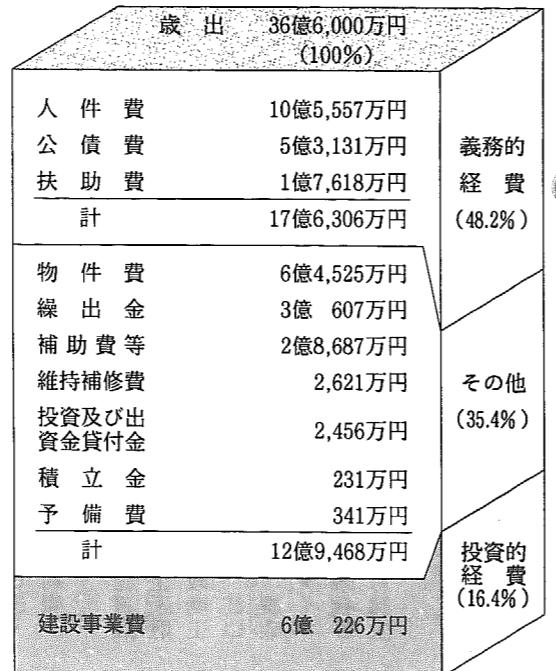
消防 680万円

可搬式ポンプ購入、排水管口径拡大・消火栓新設工事

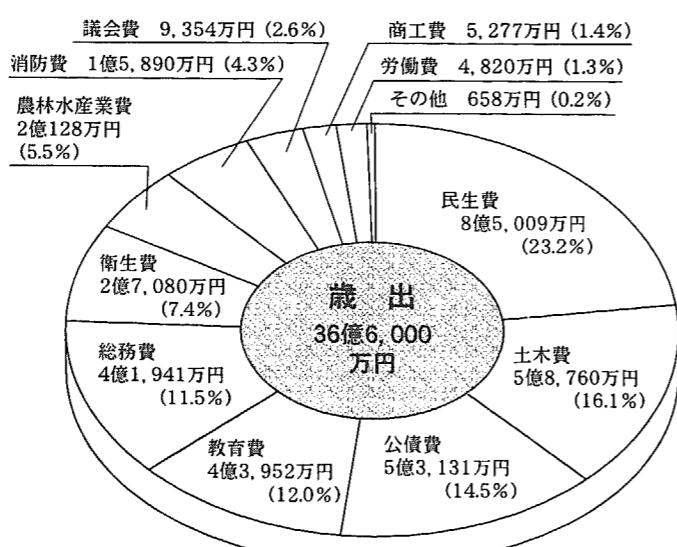
教育 7,975万円

小学校給食室汚水抜取替工事、中学校テニスコート設置工事、二本木コミュニティセンター建設

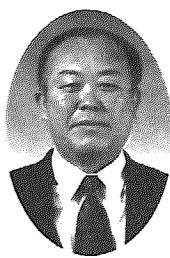
歳出予算の性質別内訳



歳出



平成11年度一般会計予算 36億6,000万円



浅見町長

町議会3月定期会で平成11年度予算が可決され成立しました。一般会計の規模は36億6,000万円で、前年度と比べ3,700万円の増となりました。特別会計は、国民健康保険。

家畜診療所・水道事業・下水道事業・老人保健の5会計で、合計27億169万円です。一般会計と特別会計の総予算規模は63億6,169万円になりました。

向に、課税客体、課税標準等の的確な把握、滞納整理による収納率の向上と、受益者負担の適正化を図り、自主財源の確保に努めて参ります。

各地域の会館等の公共施設については、広域的利用、施設の改修等により、今ある施設を有効に活用し、近隣市町村と協力しながら、住民の要望に応えて改修等となっております。

昨年スタートした第四次総合計画に基づいて、政策課題的

二十一世紀を目前に控え、政治、経済情勢は極めて厳しい状況におかれています。今日の日本経済の危機的状況を乗り越えるには、国民の英知と努力を結集することが重要ですが、何よりも政府が国民の不安感を取り除き、明確で迅速に政策を断行することが不可欠であり、これを強く政府に求めています。

一方、地方分権社会の構築については、新しい時代に対応した地方自治の改革が強く求められています。住民ニーズの拡大、多様化に対応できる柔軟で強い体制を作り上げるため、行政の組織機構の見直しなど、行政のシステム化、情報公開制度の推進、組織改革の推進と、行政手続の簡素化、公正の確保と透明性のリム化、公正の確保と透明性の

落ち込みは大変顕著であり、政構造の硬直化が懸念され、事業予算の健全な執行に全力を上げて参りたいと思います。さ

あります。

また、昨年来からの税財源の落ち込みは大変顕著であり、政構造の硬直化が懸念され、事業予算の健全な執行に全力を上げて参りたいと思います。さ

らに、課税客体、課税標準等の的確な把握、滞納整理による収納率の向上と、受益者負担の適正化を図り、自主財源の確保に努めて参ります。

正規化を図り、自主財源の確保に努めて参ります。

歴史文化に恵まれ、さらに日本海側の国際拠点都市である新潟市に隣接する地の利を活かして、二十一世紀に向けて活力に満ちた「緑豊かな生き生きとした町」の実現のために全力を上げて参る所存であります。(施政方針より抜粋)

- ### 重点施策
- 1 新たなまちづくり(主要地方道新潟港横越線歩道整備・街なみ環境整備・住居表示事業)
 - 2 生活環境整備の推進(全町下水道事業の推進・道路・排水路整備)
 - 3 町民福祉・健康づくりの推進(福祉ゾーン計画の推進・介護保険準備事業)
 - 4 農業・商工業の振興(緊急生産調整推進対策事業及び農政改革大綱に基づく農業生産体制強化・農道及び排水路整備・商工業育成事業の推進)
 - 5 教育・文化の振興(インターネットとララネットの活用・中学校テニスコート整備・町史編さん事業の推進・二本木地区コミュニティセンター建設事業)
 - 6 その他(ゴミ減量、再資源化の推進、小学生海外研修事業)

歳入

